

当事者の

当事者による

当事者のための

犯罪被害者支援をめざして

自助、自立のための3カ年基盤整備事業計画

特定非営利活動法人

いのちの
ミュージアム



2012.12.15

もくじ

- いのちのミュージアムと生命のメッセージ展 ……P 2 ～ P10
- いのちのミュージアムの基幹事業 ……P11 ～ P19
- 財源確保の企画 『一円倶楽部』 ……P20 ～ P28
- 一円玉の使い道（三カ年計画） ……P29 ～ P34

いのちのミュージアムとは？

2009年6月、日野市にてNPO法人として誕生しました。

「いのち」をキーワードに

文化・芸術・教育などの分野の人とつながり

命の大切さを表現、伝える活動団体



被害者団体から被害者支援団体へ

生命のメッセージ展とは

飲酒運転などの交通事犯・事故・いじめ・医療過誤・一気飲ませなどによって、理不尽に生命を奪われた犠牲者が主役のアート展です。犠牲者の一人ひとりの等身大の人型パネルはメッセンジャーと呼ばれ、その胸元には本人の写真や家族の言葉を貼り、足元には「生きた証」である靴を置いて、命の大切さを訴えています。生きたくても生きられなかった者の存在に想いを巡らせ、あなたの命を未来に繋いでください。



生命と書いて「いのち」と読むわけ

犠牲者がメッセンジャーとなって、新たな命として「生まれる」

その「命」を「生かす」

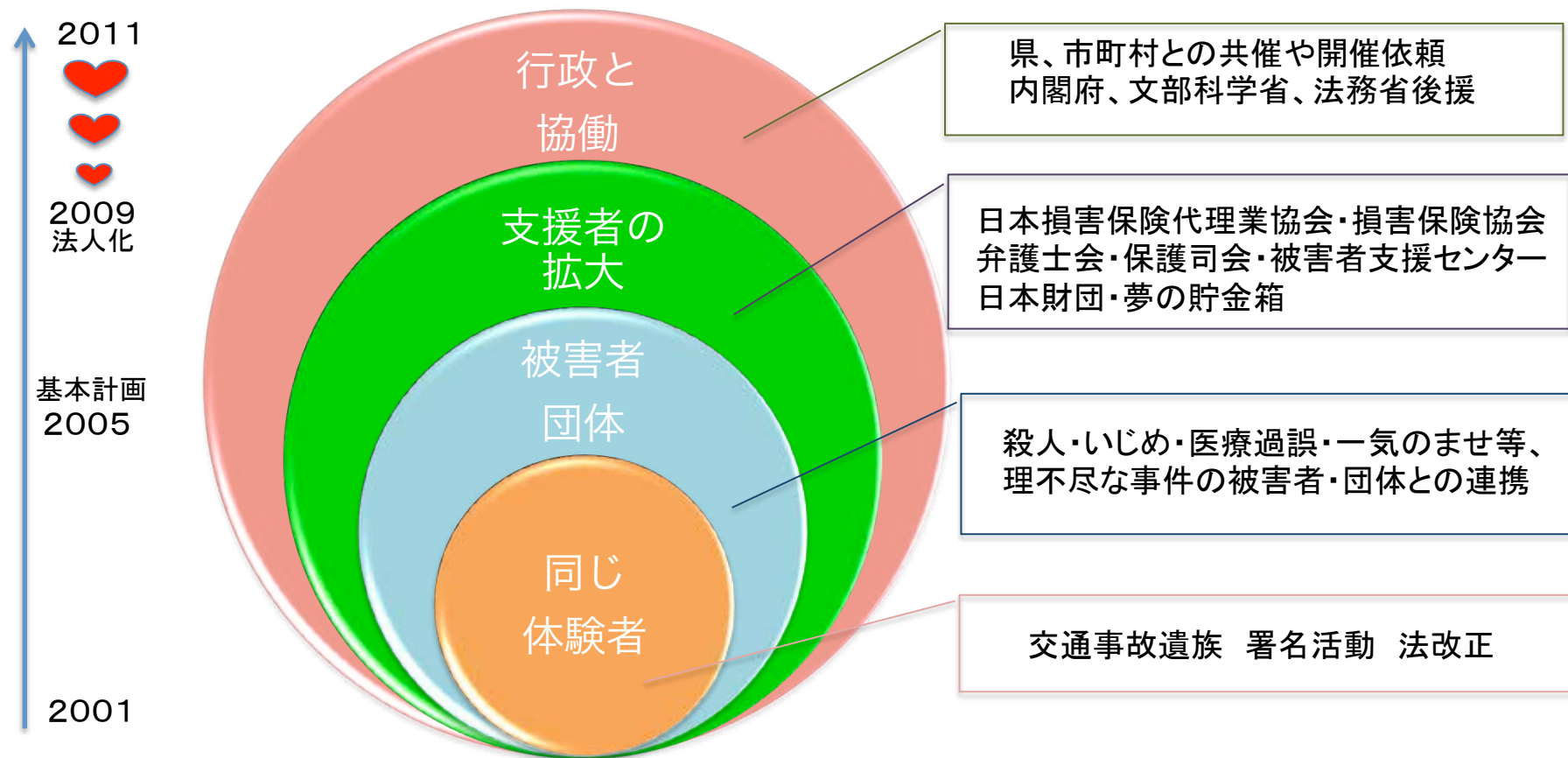
代わりに「命」を「生きる」

再生への物語をつむいでいる



第97回 in 秋田： 県警、県、支援センター

10年のあゆみ



犯罪被害者等基本法の制定と施策の進展とともに発展

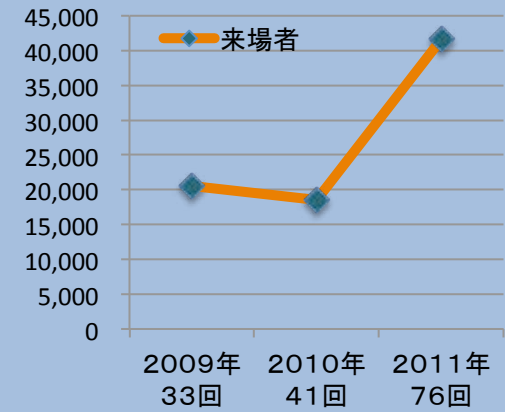
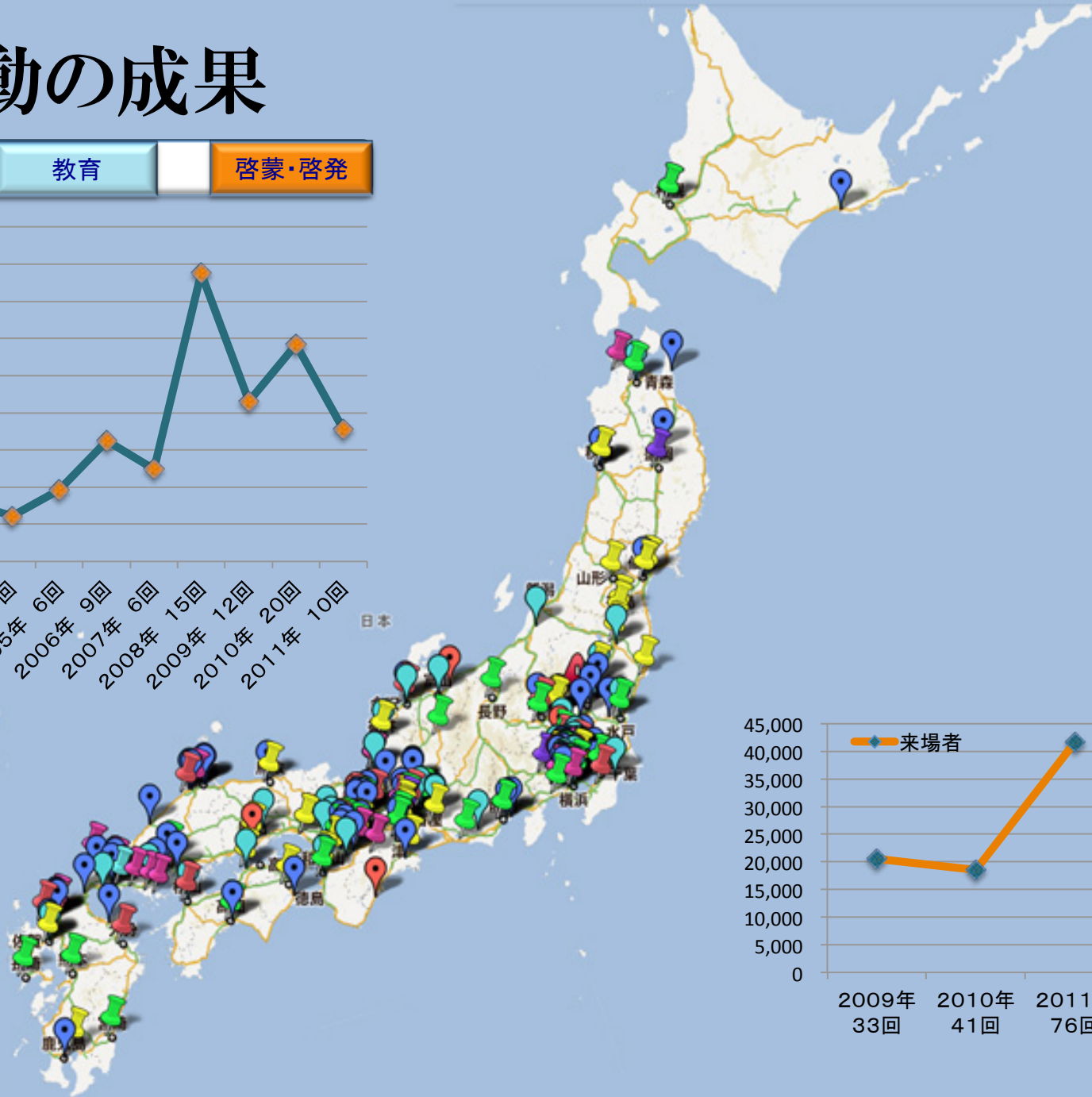
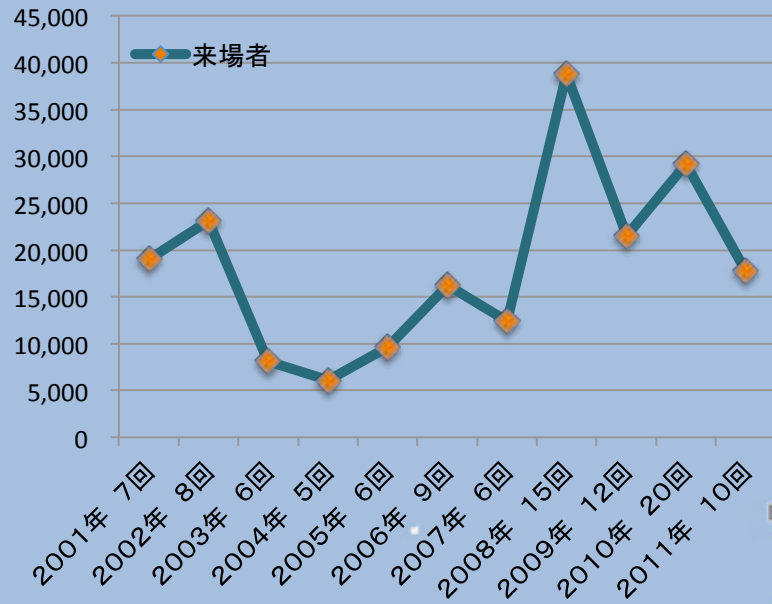


活動の成果

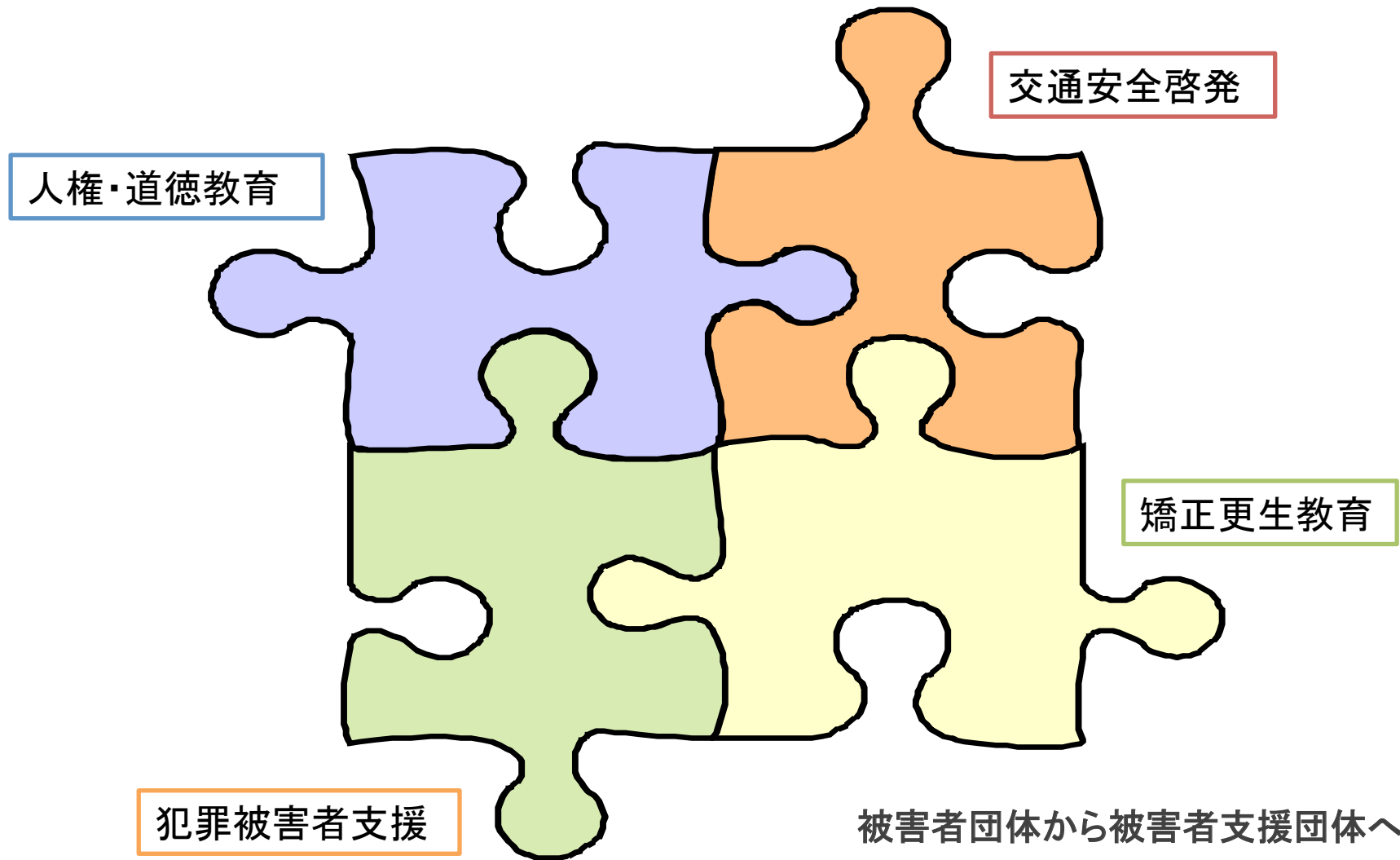
癒し

教育

啓蒙・啓発



・・・生命のメッセージ展の評価

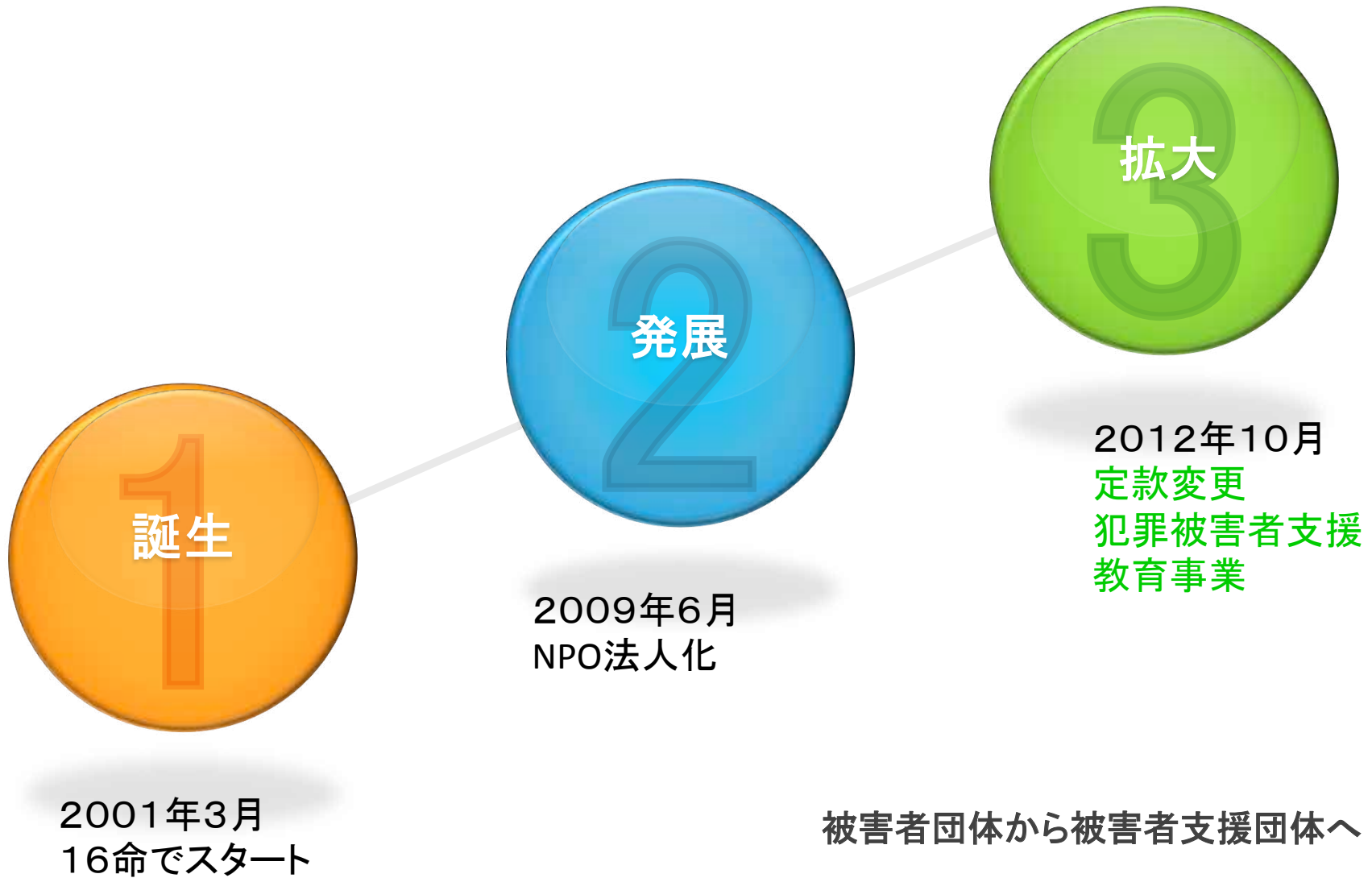


来場者の声 (番外編)

1. 「うつ病で辛い毎日。何度『死』を考えて実行しようとしたか。でも夢、希望、未来のある方々が突然生きる事を断たれ、どれ程無念な事だったか。私もこの生命終わるまで生きなくては申し訳ない」

2. 「大切なものをなくす前に、大切なことに気付かせてもらいました。感謝」

生命のメッセージ展・・・そして未来へ





今後の展開

学校教育

加害者にならない動機づけ
啓発と究極の被害者支援

ピアサポート

当事者だからこそ出来る支援
現行制度の補完

被害者団体から被害者支援団体へ



いのちの授業とは？

ミニ・生命のメッセージ展



空き教室を利用して展示

同年代のメッセンジャー
30命で構成

+

被害者遺族の講演

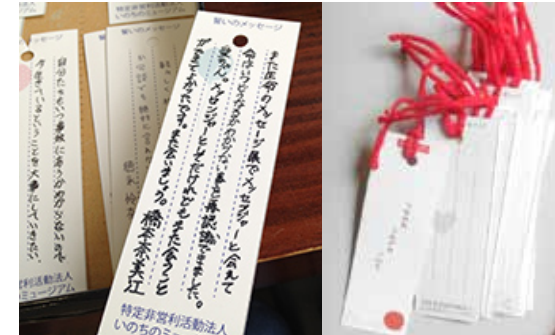


生命のメッセージ展を
体験後に講演を聴講

オプションとして映画
鑑賞も組み入れ可能

+

評価と分析



体験後の成果物として
『誓いのしおり』の作成

集計後に記載内容別に分類
分析結果を報告



いのち教育の成果物

実施日: 2012/5/22 学校名: 仙台育英学園 参加人数: 1595名

精一杯生きることへの誓い

313名

交通安全への誓い

285名

命を大切にする誓い

224名

加害者にはならない誓い

122名

いのちの大切さの気付き

495名

安全な社会への願い
命が守られる社会への願い

130名

その他
6つの項目に分類が困難なもの
26名

各回答の背景には、理不尽に奪われた命への思いや、命あることへの感謝の気持が共通して読みとれます。



いのち教育の効果

学校での開催実績66回： 小=11、中=15、高=13、大・専=24、他=3

人権啓発

犯罪被害者支援の啓発

道徳教育

いじめ・暴力行為の抑止

自死・自傷行為の抑止

交通安全・飲酒運転根絶

再犯防止・矯正教育



Peer support

ピアサポートとは？

同じ立場の人による、同じ立場にいる人へのサポート

全国会員のネットワークを
生かした
交流の場の設置・運営

+

民間支援団体
自助グループとの
連携体制の構築

霧島

防府

日野

川口

リスニングとカウンセリングによる心の再生
現行制度を補完する間接支援

ピアサポートを必要とする背景

犯罪被害者等支援の現状

<http://www8.cao.go.jp/hanzai/soudan/gaiyou.html>

国の取組

- 犯罪被害者等基本法 H.16.12
- 犯罪被害者等基本計画 H.17.12
- 第二次基本計画 H.23.3

地方行政の 取組

- 警察の被害者支援室
- 県の被害者支援担当課
- 市町村の被害者支援担当課

民間の取組

- 犯罪被害者支援センター
- 被害者団体
- 自助グループ

ピアサポートを必要とする背景

(民間)支援センター

(一次サポート)

・早期介入

・相談

・安全確保

・付き添い

・情報提供

・経済的

相対する支援



現状の問題点

被害者認定

被害者の選別

被害者の置き去り

補完の必要性

自助、互助、共助による解決

被害者の、被害者による、被害者のための
ネットワークの構築とピアサポートの実践

被害者団体との
連携・ネットワーク

支援団体・行政
との連携

寄り添う支援



自立財源確保のための寄付企画

一円倶楽部について



一元倶楽部とは？



被害者支援財源確保を目的とする寄付企画



犯罪被害者支援事業



教育事業

一元玉ソングと
だれかさんのため貯金箱と連携

被害者団体から被害者支援団体へ



倶楽部会員の基本原則



継続的な寄付の約束



寄付金額を決定する独自の理由付け



3月末日で寄付金額を決定し、4月に払い込み



被害者団体から被害者支援団体へ



会員の種類

法人会員(企業・団体)は
自由に寄付金額の根拠(CAUSE)を設定



個人会員は
だれかさんのため貯金箱(一円倶楽部専用)を利用



被害者団体から被害者支援団体へ



一円
倶楽部

いのちのミュージアムの役割



倶楽部の運営と寄付の企画



寄付の運用



運用の報告



被害者団体から被害者支援団体へ



一円
倶楽部



企画の提案先(例)

あいおい損保の総括代理店
あいおいニッセイ同和損保
アート引越センター／京王電鉄バス



業界団体
日本損害保険代理業協会／単位代協
日本特定保険募集人協会
日本司法書士連合会／弁護士会
トラック協会



被害者団体から被害者支援団体へ

一円
倶楽部

金額の根拠(CAUSE)の事例(実績)

共進株式会社
(無事故日数 x 運転者数 x 1円) x 2

一般社団法人日本特定保険募集人協会
無事故自動車保険契約数 x 1,200円



被害者団体から被害者支援団体へ

一円俱樂部専用貯金箱シート



キトリ線
折線(山折)



- ① 一円俱樂部とは、いのちのミュージアムの新しい寄付企画です。
- ① この貯金箱をつかって貯金をしてください。そして、寄付のお約束をしてください。
- ① 寄付金は、「いのちの授業」と「犯罪被害者支援」の二つの活動に利用いたします。
- ① 犯罪の被害者も加害者も出さない、命の守られる社会づくりに寄与する活動です。



組立て完成写真です。出来上がると高さ8センチ、ヨコ8センチ、奥行5センチの家の形をした貯金箱になります。

貯金箱の能力

| | | |
|-------|---|------|
| 500円玉 | = | 120枚 |
| 100円玉 | = | 270枚 |
| 50円玉 | = | 300枚 |
| 10円玉 | = | 260枚 |
| 5円玉 | = | 290枚 |
| 1円玉 | = | 370枚 |



アピールポイント

* 犯罪被害者等基本法20条・22条

- 一円から始められる社会貢献
- 国の施策^{*}に歩調を合わせた企画
- 企業・団体にとって負担の少ないCSR
- 手軽さ、ユニークさ

! 一円玉だって 集まれば

おおきな力になる!

一円玉の使い道



加害者を作らない
教育事業

被害者の心の繕い
ピアサポート事業

基盤整備事業3カ年計画

- 生命のメッセージ展開催を通じた基盤整備

1年15～16カ所＝3年で47都道府県の県庁所在地

民間支援センターとの連携確立

地域行政機関との連携確立

地域自助グループ、被害者団体との連携確立

会場における対面相談、カウンセリング

費用概算：
A案： 60万円 x 47 = 2820万円
B案： 30万円 x 47 = 1410万円

基盤整備事業計画－2

- 「いのちの授業」と企業研修の実施(有料)

霧島、山口、滋賀県、埼玉県の拠点を通じて、年間100会場

加害者にはならないという意識付け

- 拠点を活用した面会相談

霧島、山口、京都、埼玉県の拠点を通じたカウンセリング

費用概算: $10\text{万円/月} \times 12 \times 4 \times 3 = 1440\text{万円}$

基盤整備事業計画—3

- 一般管理費

選任スタッフ 3名の人件費 $25\text{万円/月} \times 12 \times 3 \times 3 = 2700\text{万円}$

通信、印刷費、消耗品、その他 $5\text{万円/月} \times 12 \times 4 \times 3 = 720\text{万円}$

年間費用の合計金額

A案: $7680\text{万円} \div 3 = 2560\text{万円(年)}$

B案: $6270\text{万円} \div 3 = 2090\text{万円(年)}$

B案は、平成25年に法務省矯正局による生命のメッセージ展の開催予算が確保された場合を想定したものです。

全国の矯正施設24カ所を1年かけて巡回する計画が実現した場合、輸送費の負担が大幅に減額されることにつながります。

財源確保策

- 財政基盤の整備

独自寄付企画「一円倶楽部」による安定財源確保

3年計画にて100団体を確保 1団体平均 15万円 = 1500万円

- 教育・研修事業収入

1件 5万円 x 100開催 = 500万円

年間収入 2000万円の確保を目指す。

3カ年計画でなし得る成果

- 自立財源の確保

+

- グリーフケア/こころの再生・回復
- 被害者ネットワーク、情報の整備
- 犯罪被害者等基本計画の重要課題の解決
- 犯罪被害者等支援推進体制への寄与